

拓く



御幸中学校
3年学年だより
令和6年8月26日(月)
第9号

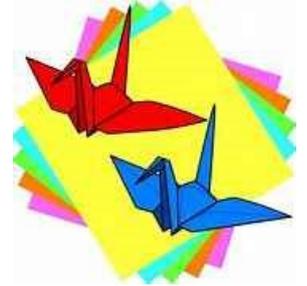
長いと思っていた夏休みも、もう終わりに近づいてきました。この37日間、どのように過ごしましたか？自分を高める夏にできたでしょうか。さあ、みなさん。もうすぐ2学期です。3年生としての1年も後半戦にさしかかります。運動会や文化祭、そして具体的な進路の決定。充実した2学期になるようみんなでがんばっていきましょう。応援しています！

朗読劇「さだ子と千羽づる」～平和学習を終えて～

全校登校日に五人の人に朗読劇「さだ子と千羽づる」を演じてもらいました。演じてくれた、〇〇〇さんは「もし自分や友達がこんな状態になったら、自分には何ができるのか。その人のために何ができるのか。」を心の中で考えたそうです。また、□□□□さんは、「唯一の被爆国『日本』として、これから平和について考え続け、次につなげていきたい。」と思ったそうです。みなさんは、何を感じ、考えましたか。その感想を紹介します。

B組

少しだけしか聞いたことのないお話だったので、実話だったこともびっくりしました。原爆が落とされてから何年もたっているのに苦しんで亡くなっていて、原爆が落とされていなかったら生きていたと思うと、原爆と放射能の恐ろしさを改めて感じたし、知ることができました。禎子さんは12歳で亡くなって、12歳でもとても若いのに、もっと小さい子も亡くなっていることがとても悲しいです。

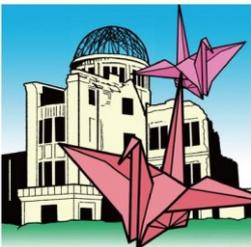


B組

この話を聞いて、戦争をしても得られるものなんてなくて、失うものの方が多いのに、戦争をする理由が何なのか不思議に思いました。どんなに元気で健康な人でも放射能が体に入ると体の細胞が死んでしまうので、とても恐ろしいものだと思います。

A組

この話を聞いて、原爆投下の日は決して忘れてはいけない日だと改めて実感しました。また、禎子が死と向き合いながらなんとか生きようとしていることに感動しました。国と国でもめていたとしても原子爆弾は使ってほしくないと思いました。こういうことが起こらないように、原爆の被害や苦しみをすることは大切だと思います。



A組

この朗読を通して、改めて原爆がどれほど怖いか、そして原爆による放射能がどれだけの人の命を奪ったかを知った。突然白血病になり残りの命が短いことを告げられることはすぐには受け入れられないと思う。それでも、受け入れ、「生きたい」という思いを諦めないで過ごしていた禎子さんはとても強い心があるんだと思った。毎年来るこの日のことについて考えるのはとても大事なことでと感じた。



A組

英語などの授業で聞いたことのあるこの話を読ませてもらったことで、しっかり思い出したし、皆にもちゃんと伝えることができたと思います。五人で協力して読むことができたと思うので、嬉しい、よかったです。話の中に書いてあったように、口から口へと伝えていくことが大切だなと考えさせられました。これからもこの話を忘れないようにします。

B組

原爆の放射能が原因で、元気だった禎子さんが10年もたっているのに白血病を発症し、亡くなってしまったことに、改めて原子爆弾の恐ろしさを知りました。放射能の効果は10年経っても消えず、この放射能の後遺症に苦しみながら生きていかなければならない人が多くいます。そのためにも「核」というものをなくす必要があると思いました。

B組

いつもの日常があたりまえにあることはとても幸せなことだと思いました。禎子さんが2歳の時に原爆が落ちたのに、10年後に病気になったので、その時の被害だけではなく、何年も人々に被害を与え続けていると思いました。禎子さんの「生きたい」という思いをととても強く感じました。今でも戦争をしている国があります。そんな国が少しでも減り、幸せな日常を送る人が増えてほしいです。



9月2日(月)の予定……給食はありません。

8:10~	登校完了・朝礼
8:30~	移動
8:40~ 9:25	始業式
9:40~10:25	2限目 (A組 国語 B組 社会)
10:35~11:20	3限目 (A組 社会 B組 英語)
11:30~12:00	学活【運動会の係決め】・終礼



【持ち物】 通知簿、筆記用具、あすをはじく、授業の準備

※未提出のものがあれば持ってくること。